

# 12月 ほけんだより

令和7年12月1日 こぼうしこども園



吐く息も白くなり、雪の便りが聞かれる季節となりました。  
園舎も園庭の樹木も、厳しい会津の冬に向けて冬支度を済ませました。

会津若松市内のインフルエンザAの流行に伴い、園内でも同じく流行が見られました。まだまだ予断を許さない状況が続いています。引き続き、感染予防に努めていきたいと思います。



○後期歯科検診 12/5(金)9:30~  
園歯科 医師 山田歯科矯正歯科  
山田医師

※先生が来園します。休まず受けましょう。  
都合でお休みの際は、その時間のみの登園をお願いします。

## 登園時、お口の中を確認しましょう！

先月、口の中に食べ物が入ったまま登園したお子さんがいました。窒息の可能性があり大変危険です。また、園では様々なアレルギーのお子さんをお預かりしている為、園内への食物の持ち込みは、間違ってアレルギーのお子さんが口に入れてしまった場合、重篤な症状を引き起こす可能性もあります。

登園する際は、お子さんの口の中に食べ物はないか、衣服などに食べかすがないかを必ず確認して下さい。

ご協力よろしくお願ひいたします



## インフルエンザについて



先月は園内でインフルエンザA型の感染が多くみられ、解熱後 24 時間自宅での安静、また咳や鼻水・目ヤニ・下痢などの風邪症状が治まってからの登園や大事をとて欠席、園からの電話での早急なお迎えなどにご協力いただきまして、ありがとうございました。

お子さんの体調が悪く、お仕事をお休みしたり、調整したりご苦労もあったかと思います。体調が改善することで子ども達も元気に園生活を送ることができます。

市内はまだまだ流行がみられますので、今後も引き続きよろしくお願ひいたします。

インフルエンザの特徴として高熱があり、“インフルエンザ脳症”など、インフルエンザに伴って発症する意識障害やけいれんなどの症状があらわれることがあります。主に五歳以下の乳幼児に起こる恐ろしい症状で、30%が死亡、25%が後遺症を残すとされています。

発症を予防するにはインフルエンザワクチン接種が有効です。

インフルエンザワクチンの最も大きな効果は、重症化を予防することです。

ワクチンにはインフルエンザによる重篤な合併症や死亡を予防することが期待されています。

## 予防接種について

生後6ヶ月以上で12歳まで(13歳未満)では2回ずつ接種します。10月ごろに1回目を接種しあよそ2~4週間(できれば4週間)あけて2回目を接種します。

## 副反応



卵アレルギーの方はかかりつけの小児科医と相談しましょう。

先生や看護師さんに気軽に相談ができる、いっしょに成長を見守ってくれるかかりつけの小児科があると心強いですね。子どもの病気に詳しく、早期発見・早期治療につながります。



## おねがい

同居家族(園児の父・母・兄姉・弟妹・祖父母他)が感染症(インフルエンザや新型コロナウイルス、RSウィルス、アデノウィルス等)などの感染する病気の場合は園にお知らせください。また、兄姉が学級閉鎖になっている場合等も園にお知らせください。体調の変化に留意したいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

